

## クマ牧場でご挨拶

ヒグマは日本に生息する陸生哺乳類の中で最大級の体長を誇る動物である。北海道内にはヒグマの生息数は1万頭前後いると思われる。私はヒグマを見たくて登別温泉にある「のぼりべつクマ牧場」を訪ねた。温泉街よりロープウェイで約7分。標高550mの山頂に140頭余りのヒグマが第一牧場、第二牧場に放し飼いにされていた。場内には「人のオリ」がありガラスのオリの中に見学者が入り、ヒグマを間近に観察できる仕組みとなっている。迫力満点だ。

オスの成獣で体長2.5m～3m、体重は250～500kg程度に達する。メスは一回り小さく体長1.8～2.5m、体重は100～300kgである。食性は雑食だが他の種類のクマと比べれば肉食で、シカ、イノシシ、サケやマスなどの魚類、果実などを主食に食べる。足の爪を見るとまるで金属の刃物のようだ。これでひっかかれたらたまらない。そして大きな体の割に走行すれば時速50～60kmにも達する。まるで自動車並みのスピードで人間を超えている。

ヒグマの生態は11月末から翌年の4月末まで山の斜面に穴を掘り巣穴で冬眠する。その間に雌ヒグマは1～3頭出産し母乳で育てる。ヒグマの発情期は5月末から7月末と言われ雄雌ともに27歳位まで発情する。

クマ牧場にいるヒグマを見ているとみんな愛嬌があり可愛く見えて来る。クマが世界中の人から愛される理由が分かるようだ。クマのプーさん、ファーファ、ブーフ、熊本県キャラのくまモン等々。ちなみに私の会社名も「柵ホワイトベア」である。この日本の大地で暮らす人間とクマ。同じ動物である。共存共栄出来るよう尊重し合いたいものだ。



撮影2015年春

